

6. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

事業の期待される成果		宿泊客の増加等							
指標	指標名	延べ宿泊客数						指標の種類	
	指標式	延べ宿泊客数(単位:千人)						成果指標 業績指標	
	年度別の目標値(見込まれる成果による指標)								
	指標	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	最終年度
	目標a			3,530	3,600	3,700	3,850		
	実績b	3,461	3,493	データ等の出典					
	東北 全国	観光庁:宿泊旅行統計調査							
把握する時期 当該年度中 月 翌年度 06月 翌々年度 月									
指標	指標名	外国人延べ宿泊客数						指標の種類	
	指標式	外国人延べ宿泊客数(単位:千人)						成果指標 業績指標	
	年度別の目標値(見込まれる成果による指標)								
	指標	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	最終年度
	目標a			28	32	36	45		
	実績b	24	32	データ等の出典					
	東北 全国	観光庁:宿泊旅行統計調査							
把握する時期 当該年度中 月 翌年度 06月 翌々年度 月									
指標を設定することができない場合の効果の把握方法 指標を設定することが出来ない理由									
見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)									

事業の必要性	
現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性	平成25年の宿泊者は3,493千人であり、平成24年に加えて若干増加しているが、本県観光産業の振興に向け、依然として魅力ある宿泊施設の増加が求められている。
住民ニーズに照らした事業の必要性	秋田県観光連盟が中心となって、県内事業者と意見交換を行ったほか、個別のヒアリングを実施した結果、新たな顧客の獲得を図るため、積極的な事業展開を考えている事業者が相当程度確認された。
事業の県関与の必要性	法令・条例上の義務 内部管理事務 県でなければ実施できないもの 民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの
	秋田県観光連盟等の関係団体や民間事業者と連携し、県も応分の役割を担う必要があるとともに、意欲溢れる事業者の積極的な事業展開を後押しするため、財政的な支援を行う筆世がある。

政策評価委員会意見		重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定
		重点事業 其他